

令和 4 年度

社会福法人にいつ福祉会

事業実績報告

# 令和4年度 社会福祉法人にいつ福祉会理事会・評議員会実績報告

## 1. 理事会

開催日	第 回	報告及び議題	議 事	摘要
令和4年6月8日	第1回	報告第1号	社会福祉法人にいつ福祉会理事長の職務執行状況について	
		報告第2号	公益財団法人JKAの2022年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金の交付決定通知について	
		認定第1号	令和3年度社会福祉法人にいつ福祉会事業実績の認定について	
		認定第2号	令和3年度社会福祉法人にいつ福祉会会計決算の認定について	
		議 第1号	令和4年度社会福祉法人にいつ福祉会会計補正予算（第1次）	
		議 第2号	社会福祉法人にいつ福祉会育児・介護休業等に関する規則の全部改正（案）について	
		議 第3号	社会福祉法人にいつ福祉会職員給与規程の一部改正（案）について	
		議 第4号	社会福祉法人にいつ福祉会臨時職員給与規程の一部改正（案）について	
		議 第5号	社会福祉法人にいつ福祉会役員等慶弔見舞金規程の一部改正（案）について	
		議 第6号	社会福祉法人にいつ福祉会処遇改善支援手当の支給に関する規程の一部改正（案）について	
		議 第7号	社会福祉法人にいつ福祉会令和4年度第1回（定時）評議員会招集の決定について	
令和4年8月19日 （書面決議）	第2回	議 第1号	社会福祉法人にいつ福祉会感染症対応従事危険手当の支給に関する規程（案）の制定について	
令和4年11月16日	第3回	報告第1号	社会福祉法人にいつ福祉会理事長の職務執行状況について	
		報告第2号	社会福祉法人にいつ福祉会感染症対応従事危険手当の支給に関する規程の制定について	
		報告第3号	特別養護老人ホームやしろだ苑特養利用者の利用料滞納について	
		報告第4号	公益財団法人JKA競輪補助事業の完了報告について	
		認定第1号	令和4年度社会福祉法人にいつ福祉会中間事業実績の認定について	
		認定第2号	令和4年度社会福祉法人にいつ福祉会中間会計決算の認定について	
		議 第1号	令和4年度社会福祉法人にいつ福祉会会計補正予算（第2次）	

開催日	第 回	報告及び議題	議 事	摘要
令和5年3月15日	第4回	議 第2号	特別養護老人ホームこぐち苑（介護予防）短期入所生活介護（空床型）運営規程の一部改正（案）について	
		議 第3号	社会福祉法人にいつ福祉会障害福祉サービス短期入所事業こぐち苑運営規程の一部改正（案）について	
		議 第4号	特別養護老人ホームやしろだ苑（介護予防）短期入所生活介護運営規程の一部改正（案）について	
		議 第5号	社会福祉法人にいつ福祉会就業規則の一部改正（案）について	
		議 第6号	社会福祉法人にいつ福祉会臨時職員就業規則の一部改正（案）について	
		議 第7号	社会福祉法人にいつ福祉会職員給与規程の一部改正（案）について	
		議 第8号	社会福祉法人にいつ福祉会臨時職員給与規程の一部改正（案）について	
		議 第9号	社会福祉法人にいつ福祉会ベースアップ等支援手当の支給に関する規程（案）の制定について	
		議 第10号	社会福祉法人にいつ福祉会経理規程の一部改正（案）について	
		議 第11号	社会福祉法人にいつ福祉会令和4年度第2回評議員会の招集の決定について	
		報告第1号	社会福祉法人にいつ福祉会佐藤昌弘理事施設長の退任願の提出について	
		報告第2号	特別養護老人ホームこぐち苑新型コロナウイルス感染者の発生について	
		報告第3号	特別養護老人ホームやしろだ苑特養利用者の滞納利用料の返済状況について	
		議 第1号	令和4年度 社会福祉法人にいつ福祉会会計補正予算（第3次）	
		議 第2号	令和5年度 社会福祉法人にいつ福祉会各事業所事業計画（案）について	
		議 第3号	令和5年度 社会福祉法人にいつ福祉会会計予算	
		議 第4号	社会福祉法人にいつ福祉会理事施設長候補者の選定について	
		議 第5号	社会福祉法人にいつ福祉会令和4年度第3回評議員会の招集の決定について	

## 令和4年度 社会福祉法人にいつ福社会理事会・評議員会実績報告

### 2. 評議員会

開催日	第 回	報告及び議題	議 事	摘要
令和4年6月23日	第1回 (定時)	報告第1号	公益財団法人JKAの2022年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金の交付決定通知について	
		認定第1号	令和3年度社会福祉法人にいつ福社会事業実績の認定について	
		認定第2号	令和3年度社会福祉法人にいつ福社会会計決算の認定について	
		議 第1号	令和4年度社会福祉法人にいつ福社会会計補正予算(第1次)	
令和4年11月24日	第2回	報告第1号	特別養護老人ホームこぐち苑新型コロナウイルス感染者の発生について	
		報告第2号	社会福祉法人にいつ福社会感染症対応従事危険手当の支給に関する規程の制定について	
		報告第3号	公益財団法人JKA競輪補助事業の完了報告について	
		認定第1号	令和4年度社会福祉法人にいつ福社会中間事業実績の認定について	
		認定第2号	令和4年度社会福祉法人にいつ福社会中間会計決算の認定について	
		議 第1号	令和4年度社会福祉法人にいつ福社会会計補正予算(第2次)	
令和5年3月23日	第3回	報告第1号	社会福祉法人にいつ福社会佐藤昌弘理事施設長の退任願の提出について	
		報告第2号	特別養護老人ホームこぐち苑新型コロナウイルス感染者の発生について	
		議 第1号	令和4年度 社会福祉法人にいつ福社会会計補正予算(第3次)	
		議 第2号	令和5年度 社会福祉法人にいつ福社会各事業所事業計画(案)について	
		議 第3号	令和5年度 社会福祉法人にいつ福社会会計予算	
		議 第4号	社会福祉法人にいつ福社会理事施設長の選任について	

## 社会福祉法人 にいつ福社会基本理念

### 1. まごころを込めたサービスのご提供

長年培ってきた経験やノウハウを活かし、まごころを込めた介護サービスをご提供することで、より豊かな生活支援につなげます。

### 2. ご利用者様の自立支援

ご利用者様が自らの意思に基づき、自らの能力を最大限に活かして、自立した質の高い生活を送ることができるように支援します。

### 3. 地域社会への貢献

ご利用者様の生活を支える事業者として、地域との共生を図りながら介護サービスを提供し、地域福祉に貢献します。

## 運営方針

多様な福祉サービスがご利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう工夫創意することにより、ご利用者様が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、以下の項目を方針とします。

1. ご利用者様の人格を尊重し、つねにご利用者様の立場に立ったサービス提供に努める。
2. 明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行う。
3. 市町村、他の介護保険施設その他の保健、医療または福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。

◎特別養護老人ホーム こぐち苑 施設福祉課指導係・介護係

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

(1) 介護業務について

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 利用者との関わりを増やし、気持ちに寄り添う。家族にもわかりやすく今の状態を伝え、利用者自身はもちろん、周りで関わるすべての人の不安やストレスを軽減できるよう協同していく。</p>	<p>① 業務優先になってしまいうこともあったが、時間を見つけて関わりを多く持つように努めた。関わりの中での気づきを職員間で共有、相談しながら不安やストレスの軽減を図った。家族へも手紙や面会の付き添い時に細かく状態を伝えるようにした。職員間でも意見を聞きながら不安軽減に努めることができた。</p>	<p>① コミュニケーションの取り方については職員個々で差があるので、職員皆で利用者との関係づくりに力を入れていきたい。 面会条件が緩和された際に介護職員から家族へ普段の細かな様子を伝えるよう心掛ける。</p>
<p>② 全職種で利用者の情報を共有するため、報告・連絡・相談・記録・引継ぎを確実に行う。一人ひとりの状態の変化に合わせ、柔軟にケア内容も変更し、今のケアが合っているかどうかを常に考えながら業務にあたる。</p>	<p>② ブロック職員間、職種間で引継ぎが上手くいかなかったことがあったので、再度個々での意識づけを行っていききたい。 ケア内容については職員間で意見の相違があつたり、方向性を決められず、対応が遅くなつてしまふことがあつた。職員一人ひとりが変化に気づき、利用者にとって必要なケアを見極めて実践にうつす力が必要であると感じた。</p>	<p>② 職種間での連絡体制の見直しを行い、行き違いや連絡漏れをなくす。 急な状態変化時に多職種からの客観的な意見も含めた随時の話し合いの場を持つようになりたい。</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
③ どの職員も意見や思いを出しやすい雰囲気作り、同じ目標をもってチームワークに当たる。現状に満足せず、高めあえる関係を作る。	③ 会議では一人ひとりに意見を聞くようにしている。意見が食い違うこともあるが、お互いに尊重しながら方向を決めることが出来ている。ユニットの在籍が長く、現状に満足してしまい、業務をこなす介護になってしまっている職員もいる。定期的に学ぶ場を作り、今の介護を見直す機会が必要であると感じた。	③ 多くの職員に外部・内部研修に参加してもらうようにする。毎月の目標を意識が高まるような内容にしていきたい。

## (2) 相談援助業務について

事業計画	事業評価	今後の課題
① 利用者と家族が安心してその人らしくできるよう相談・支援を行う。	① 面会時や電話連絡の際に家族へ普段の様子をお伝えする場が増えており、事前にユニット職員より情報を得るようになり組んだ。利用者・家族のニーズも年々変化し、より細かくなっており、なるべく意向に沿い、安心して施設生活が送れるよう今後も相談員間で情報共有しながら対応について相談していきたい。必要な手続き等の代行は滞りなく行えた。	① 利用者と直接関わり、思いを聞く場を増やしていく。コロナウィルスが5類に移行した後の支援方法を状況に応じて検討していく。

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>② 職員が働きやすく、意欲的に業務に取り組める環境を作る事で離職を減らす。新人職員の育成に努める。</p>	<p>② 令和4年度は4月に専門学校卒業の職員1名が入職し、プリセプターの指導のもと順調に業務に当たっている。その他、中途採用で入職した職員数名もユニットリーダーより個々の能力に応じた指導を受け、努力している姿が見られている。周りの先輩職員より指導に入ってもらったこともあり先輩職員にとっても普段を振り返る良い機会となった。</p> <p>コロナ対応に追われ、全体を通して意欲的とはいかなかったものの、職員間の連携が強化されたように感じる。</p>	<p>② 2～3年目の若い職員への教育の継続。やりがいの作り。ユニットでの面会再開にむけての家族対応についての指導。</p>
<p>③ 平均稼働率95%を目標にする。待機者確保に努め、退所があった際は早期に次の利用者に声をかけ、未契約日数を極力少なくする。</p>	<p>③ 令和4年度は平均稼働率95.81%（空床型ショートステイ含む）で終了し、目標は達成できた。未契約日数も多くなかった。入退院の対応を心がけることができた。入院者数も多かったため、引き続き近隣の居宅支援事業所に空床ショートステイの案内を出し空床の活用に努めた。</p>	<p>③ 退所がありそうな時は見通しを持って待機者を確保できるように取り組みたい。</p> <p>入所申し込み件数が毎年減っているため、関係機関への案内の検討。</p>



(3) 施設介護サービス計画について

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 利用者と介護支援専門員・他職種が共同し、「利用者が主役になれるケアプラン」の作成と実施に努める。一人ひとりの生活でのこだわりや意向を把握し、個人に合わせたケアを展開する。</p>	<p>① 認知症や発語の有無にかかわらず、困りごとややりたいこと、行きたいところ等を聞くようにした。返答があってもなくてもきちんと確認しようとする姿勢を持ち続けたいと思う。</p>	<p>① プラン内容をみればどの利用者のプランかわかるような個性のあるプラン作りをしたい。個々の価値観を尊重し、こだわりや意向を否定しないという考え方を介護職員に浸透させる。</p>
<p>② 出来ない事やマイナス面にばかり目を向けず、出来る事や出来る可能性のある事に関しては積極的に働きかけを行う。</p>	<p>② 入居前に先の見通しや可能性を探り、今はできなくても今後できる可能性のあることはケアプランに記載し取り組んでいけるようにした。できる可能性のある方には直接「やってみませんか？」と促し、前向きになれるように関わりを持たせた。</p>	<p>② 1度の失敗やできないことをマイナースとしてとらえてしまいう傾向が職員全体に見られる。短所より長所に目を向けていけるよう改変が必要だと思うのでケアマネの立場で働きかけていきたい。</p>

## 令和4年度 こぐち苑 特養事業報告

## ① 入退所者状況

	市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入 所 者 規 定 数	新潟市	3	0	4	1	4	3	1	2	2	2	1	1	24
	新潟市以外	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	五泉市	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	合計	4	0	4	1	4	3	3	2	2	2	1	1	27
退 所 者 数	新潟市	2	3	2	2	3	3	2	2	2	0	2	2	25
	新潟市以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五泉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	合計	2	3	2	2	3	3	2	2	2	0	2	3	26
在 籍 月 末 者 数	新潟市	88	85	87	86	87	87	86	86	86	88	87	86	
	新潟市以外	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	
	五泉市	23	23	23	23	23	23	24	24	24	24	24	23	
	合計	115	112	114	113	114	114	115	115	115	117	116	114	
在 床 内 数	入院者数	9	7	6	5	5	7	8	6	9	14	18	14	108
	入院者延べ日数	177	144	89	94	82	104	127	99	109	265	278	246	1,814
	未契約延べ日数	180	204	219	158	177	167	174	170	147	126	102	150	1,974
	合計	357	348	308	252	259	271	301	269	256	391	380	396	3,788
特 養 延 べ 人 数	特養 延べ人数	3,243	3,372	3,292	3,468	3,461	3,329	3,419	3,331	3,464	3,329	2,980	3,324	40,012
	特養 稼働率	90.08%	90.65%	91.44%	93.23%	93.04%	92.47%	91.91%	92.53%	93.12%	89.49%	88.69%	89.35%	91.35%
	SS 空床利用	188	220	193	157	145	106	139	163	164	172	142	164	1,953
	特養+SS 延べ人数	3,431	3,592	3,485	3,625	3,606	3,435	3,558	3,494	3,628	3,501	3,122	3,488	41,965
特 養 + SS 稼 働 率	特養+SS 稼働率	95.31%	96.56%	96.81%	97.45%	96.94%	95.42%	95.65%	97.06%	97.53%	94.11%	92.92%	93.76%	95.81%

## ② 要介護度状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5
要介護3	38	38	39	39	39	39	39	39	36	36	35	31
要介護4	37	33	33	34	34	35	33	31	33	34	31	33
要介護5	37	38	39	37	38	37	39	41	42	43	46	45
計	115	112	114	113	114	114	115	115	115	117	116	114
平均介護度	3.94	3.95	3.95	3.93	3.94	3.93	3.93	3.95	3.98	3.99	4.03	4.04

〈空床型ショートステイ月別利用状況〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(新規利用者数)	新潟市	7	7	7	7	6	6	7	6	6	5	5	9	78
	新潟市以外	2	2	1	1	1	1	1	1	1	3	2	1	17
	予防支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9	9	8	8	7	7	8	7	7	8	7	10	95
延べ利用者数	新潟市	11	10	11	10	9	10	12	12	8	7	7	12	119
	新潟市以外	2	2	1	1	1	1	1	1	1	3	3	2	19
	予防支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	13	12	12	11	10	11	13	13	9	10	10	14	138
延べ利用日数	新潟市	152	168	163	126	114	94	136	133	133	124	120	157	1620
	新潟市以外	36	52	30	31	31	12	3	30	31	48	22	7	333
	予防支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	188	220	193	157	145	106	139	163	164	172	142	164	1953

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護度別利用者数	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	要介護1	0	0	0	0	26	10	14	19	11	18	8	7	113
	要介護2	28	63	52	0	0	27	30	30	31	44	56	56	417
	要介護3	150	155	139	150	104	57	63	54	60	60	50	62	1104
	要介護4	2	2	0	2	0	12	31	30	31	19	0	0	129
	要介護5	8	0	2	5	15	0	1	30	31	31	28	34	185
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	188	220	193	157	145	106	139	163	164	172	142	164	1953
平均介護度		2.95	2.72	2.75	3.08	2.85	2.67	2.82	3.13	3.24	3.01	2.89	2.99	2.93

<体験学習・実習・ボランティア>

	氏 名 (団 体)	内 容
5・6月	新潟医療福祉カレッジ	介護福祉士実習 (1名) (5月18日～6月21日)
10・11月	新潟青陵大学短期大学部	介護福祉士養成実習 (1名) (10月5日～11月18日；毎週水・木・金)
11月	新潟医療福祉カレッジ	介護福祉士実習 (2名) (11月4日～11月11日)

< WEB 研 修 >

月 日	研 修 内 容	対象者
4月18日	職員採用セミナー	生活相談員
5月23日	認知症ケア・パーソンセンタードケア	全職員
8月23日	高齢者虐待防止研修	生活相談員
10月5日	褥瘡研修(ポジショニング)	全職員
10月24日	勤めたくなる施設、やめたくない施設づくり	生活相談員
10月26日	人材定着支援研修	生活相談員
1月26, 27日	ユニットリーダー研修	田崎主任
2月21, 22日	ユニットリーダー研修	笠原主任

< 外部 研 修 >

月 日	研 修 内 容	参加者	場 所
6/14～7/15	喀痰吸引研修（計10回）	伊藤 耕陽・古田 直基	特別養護老人ホーム 八雲苑
9月14日	新潟県老人福祉施設研究大会	瀧澤 有香里	新潟ユニゾンプラザ
10月12日・13日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程/初任者コース	加藤 蓮	新潟ユニゾンプラザ
11月10日・11日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程/チームリーダーコース	本多 浩之・渡部 直樹	新潟ユニゾンプラザ
11月16日・17日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程/中堅職員コース	小林 恵・近藤 律子	新潟ユニゾンプラザ

< 内部 研修 >

月 日	研 修 内 容	講 師
5/30～6/10	ガウンテクニックの実技研修	看護師
6月28日	食中毒予防の研修	(株)明治 西田様
6月30日	AED研修	渡辺吉徳
7月29日	介護現場のリスクマネジメントについて	介護福祉士会 前田喜代子様
9月27日	口腔ケア研修	小林歯科医院様
10月26日	介護現場における虐待防止、身体拘束廃止に向けて	介護福祉士会 西本 円様

# < 行 事 >

	事 業 内 容
4月	10日(日) 12日(火) 13日(水) 14日(木) 17日(日) 苑外外出
5月	12日(木) 19日(木) 28日(土) 29日(日) 調理レク 16日(月) お楽しみ会 20日(金) 草野球 10日(火) 23日(月) 29日(日) 苑外外出 26日(木) おやつレク (1階、2階)
6月	2日(木) おやつレク (3階) 19日(日) お楽しみ会 29日(水) ユニット夏祭り
7月	9日(土) 調理レク 11日(月) 17日(日) 21日(木) 22日(金) 23日(土) ユニット夏祭り
8月	3日(水) スイカ割りレク
9月	13日(火) そうめん、デザートレク 18(日) 19日(月) 20日(火) ユニット敬老会
10月	17日(月) 18日(火) 調理レク
11月	18日(金) 19日(土) 20日(日) 調理レク 10日(木) 17日(木) おやつレク (1階、2階、3階) 15日(火) 16日(水) 苑外外出
12月	18日(日) 19日(月) 22日(木) クリスマス会
1月	1日(日) 8日(日) 14日(土) 22日(日) ユニット新年会<書初め、かるた取りゲーム>
2月	3日(金) 4日(土) 5日(日) 19日(日) 節分豆まき
3月	5日(日) 8日(水) 14日(火) ひな祭りレク 17日(金) 握り寿司 5日(日) 31日(金) 苑外外出

※各ユニットでの夏祭りについて

- ・調理レク (アイスクリーム、デザート、とうもろこし、枝豆) ・水風船・わなげ・駄菓子
- ・ボール投げゲーム等・にいつ松阪踊り・BGM (にいつ松阪) 貸し出し・法被貸し出しを行いました。

※各ユニットでの敬老会について

- ・職員のギター演奏に合わせて歌を歌う (北国の春、ふるさとなど)
- ・職員によるダンス (365日のマーチ) に合わせたリズム体操・花束贈呈・写真撮影等
- ・米寿、百寿のお祝い (賞状、記念品贈呈)

◎特別養護老人ホーム こぐち苑 施設福祉課看護係

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 利用者が心身ともに安定した生活が送れるよう、日々の健康状態の観察を行い体調変化時は、早目の対応を心掛ける。他職種と情報共有を図り、統一した対応を行い、身体機能の維持に努める。</p>	<p>① 複数の基礎疾患を持っている利用者が多く、重症化しやすいため、職員間で情報共有を図り、異常の早期発見に努めた。今年度は毎月1～8名の入院があり、入院件数の累計が108名となった。嘱託医や協力病院との連携を図りながら健康管理を行った。新型コロナウイルス感染症の流行により、外出の機会が少なくなり、身体機能の低下を予防するため、3カ月ごとに評価を行い、身体機能の維持に努めた。</p>	<p>① 感染症への恐怖や不安を抱える利用者や介護職員に対し、正しい情報を伝え、不安の軽減に努めていく。安心して生活して頂けるよう他職種と連携して支援していく。</p>
<p>② 新型コロナウイルス、インフルエンザやノロウイルスなどの感染予防、蔓延防止に努める。感染症についての正しい知識、対応方法を習得できるよう研修に参加し、感染症の重症化リスクの高い利用者に対して、安全に介護を行えるようになる。施設に感染源を持ち込まないよう、職員一人ひとりが健康管理を行い、標準予防対策を徹底し業務を行う。</p>	<p>② 基本的な感染対策である標準予防策を徹底し、5月より介護職員を対象に個人防護服の着脱方法について実地研修を行い、感染発生時にスムーズに対応する事が出来た。8月より施設内で3回の新型コロナウイルス感染症の発生があった。保健所や嘱託医との連携により14名の利用者の施設内療養を行った。該当ユニットの利用者、職員に対し、抗原検査やPCR検査を行い、蔓延防止に努め</p>	<p>② 新型コロナウイルス感染症が5類感染症の移行に伴い、行動制限が緩和される。これまでに以上に感染を警戒し、感染管理を行っていく必要がある。施設全体で課題を共有し情報を集めて分析し、今、必要なことは何かを話し合い、解決策</p>



事業計画	事業評価	今後の課題
<p>③ 終末期を苦痛なく過ごせるよう、個々の状態に合った観察、ケアを行い、苦痛の緩和に努め、尊厳ある安らかな最期を迎えられるよう支援する。日々の様子や、今後予測される身体的変化など説明し、家族の気持ちに寄り添いながら看取りのできる環境を作る。</p>	<p>た。ウェブ研修に参加し、オミクロン株の特性などの知識を深めることが出来た。</p> <p>③ 施設で10名の看取り介護を行った。新型コロナウイルス感染症の流行で面会制限がある中、利用者の日々の様子を細めに連絡し、感染対策を行いながら、家族との時間を過ごして頂いた。清潔保持に気を配り、安楽に過ごせるよう支援した。</p>	<p>を明らかにしていく必要がある。</p> <p>③ 終末期を安らかに迎えられよう他職種との連携を密にし、統一したケアを行っていく。看取りケアの充実を図るため、研修に参加し、スキルアップに努める。</p>

## 2 参考資料

### 〈受診・往診(件数)〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
受 診	28	45	48	43	20	24	35	26	25	30	16	28	368
往 診	1	8	3	4	1	10	5	6	4	5	6	8	61
合 計	29	53	51	47	21	34	40	32	29	35	22	36	429
うち協力医療機関受診件数	23	35	41	33	18	16	23	18	17	19	13	18	274

### 〈月末時入院件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入 院	9	7	6	5	5	7	8	6	9	14	18	14	108
合 計	9	7	6	5	5	7	8	6	9	14	18	14	108
うち協力医療機関入院件数	9	7	6	5	5	6	7	4	8	13	15	13	98

### 〈月末時退院件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
退 院	3	0	2	1	1	1	2	1	1	1	9	6	28
合 計	3	0	2	1	1	1	2	1	1	1	9	6	28
うち協力医療機関退院件数	3	0	2	1	1	0	2	1	0	1	7	6	24

〈月別医療機関往受診入退院件数内訳〉

(受診件数の中には入院件数も含む)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
内科	受診	17	27	24	24	12	13	18	14	11	19	8	14	201
	往診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	7	6	4	4	4	6	7	5	8	14	16	14	95
	退院	2	0	1	1	0	0	2	1	0	1	8	5	21
整形外科	受診	4	7	10	5	1	6	4	1	4	3	3	4	52
	往診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	2	1	2	1	1	1	1	0	0	0	2	0	11
	退院	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	6
外科	受診	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
	入院	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
皮膚科	受診	4	8	9	11	6	3	9	5	3	5	4	6	73
耳鼻咽喉科	受診	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	0	0	5
眼科	受診	1	0	2	0	0	0	1	1	2	1	0	1	9
脳神経外科	受診	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	15
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	往診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	受診	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	5
歯科	受診	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	往診	1	8	3	4	1	10	5	6	4	5	6	8	61
受診合計		28	45	48	43	20	24	35	26	25	30	16	28	368
往診合計		1	8	3	4	1	10	5	6	4	5	6	8	61
入院合計		9	7	6	5	5	7	8	6	9	14	18	14	108
退院合計		3	0	2	1	1	1	2	1	1	1	9	6	28

〈Web 研修〉

	研 修 内 容
4 月 2 8 日	新型コロナウイルス感染症対策研修会  (オミクロン株の特性を踏まえた高齢者施設等における医療提供体制等に係る説明会)
1 1 月 2 4 日	新型コロナウイルス感染症対策研修会  (新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えるための説明会)

〈内部研修〉

	研修内容	講師	場所
5 月～6 月	ガウンテクニック研修（実地研修） 介護職員対象	看護師（こぐち苑）	会議室
9 月 2 7 日	口腔ケア研修 （口腔アセスメント、歯磨き、摂食嚥下障害について）	小林歯科医院 小林徹也医師	会議室
1 1 月 2 9 日	ノロウイルス対策（手指消毒、吐物処理について）	（株）サラヤ	会議室
1 2 月 7 日	褥瘡と栄養ケアについて	（株）クリニコ	会議室

◎特別養護老人ホーム こぐら苑 施設福祉課栄養係

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 利用者がおいしいと思ってもらえる食事づくりをするため、残食調査や嗜好調査を行い、結果を見ながらメニューを改善する。入所時に嗜好や食生活習慣などを聞き取りできるだけ利用者の意向に沿えるよう検討する。給食で対応が難しい場合もユニットで対応できるか各職種と相談しながら、より良い食事の提供を目指す。</p>	<p>利用者の食生活も多種多様になってきておりなかなか傾向がつかみにくいのが現状である。入所時に聞き取りをするが、自分の意思が伝えられない利用者もいるので日々の残食などで情報を得て対応している。委託業者にも協力してもらい残食の多かったメニューの改善をしている。厨房でできない対応に關してはユニットで対応が可能かどうか利用者の意向に沿えるように検討した。</p>	<p>物価の高騰で食材料費が上がっている。無駄をできるだけなくし、代替できる食品は代えていくが、その分をできるだけ質を落とさず材料費にあててもらえるように委託業者と協力していく。</p>
<p>② 利用者の低栄養状態をできるだけ回避できるように状態の把握に努め早期発見、対応を心掛ける。多職種と連携し、定期的なアセスメント、モニタリングを通してリスクの高い場合や、日々の急な状態の変化がある場合にも水分強化や食事内容の見直しを行っていく。</p>	<p>高齢になると食事が減ってくるため、十分な栄養がなかなかとれない。食事を減らし栄養吸収率のよい栄養剤や栄養補助食品などを提供した。利用者の急な変化については介護職員や看護職員からの情報をもとに迅速に確認、対応を行った。</p>	<p>高齢者はどんな食が細くなってくる場合が多いのでできるだけ食べられる量で栄養を賄えと良いが難しく、栄養補助食品や栄養剤に頼ってしまう。値段も高騰しているのなるべく使わないうで栄養が摂れる献立づくりを目指す。</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>③ 利用者に安全で衛生的な食事を提供するため、厨房内の設備や器具のメンテナンス、調理従事者の健康状態を把握する。ユニット内の衛生管理は衛生マニュアルの周知徹底を行い食中毒予防に関する知識も習得してもらうよう研修を開催する。口腔機能の低下している利用者には状態にあった食事形態で食事を提供し誤嚥や肺炎を予防していく。</p>	<p>厨房内の調理機器に関しては厨房職員より日常の機械や備品の状態を確認してもらい少しでも異変がみられたら業者にて点検をお願いし修理を迅速に依頼し食事づくりに影響がないよう対応した。食中毒予防は職員に知識を習得してもらうためメーカーに依頼し勉強会を開催した。マニュアルも年度初めに改訂版を配布した。食事の形態も安定した提供は行えているが嚥下調整食の対応ができていない部分もあるので委託業者と相談しながら改善していく。</p>	<p>季節によるが暖かい時に小さな虫が厨房内に入り食事に混入する危険性があるため対策を検討していく。害虫駆除の業者にも相談し異物混入を防いでいく。食事形態も嚥下調整食の一部の段階に対応できていることあるもので改善していくよう努める。</p>
<p>④ 利用者が季節を感じ、食事を通して楽しんでもらえるような行事を計画し実行する。毎年恒例の行事食に加え、日々のメニューに関しても旬の食材やメニューを取り入れ1年を通して四季を感じて過ごしてもらえよう努める。</p>	<p>年間の行事はコロナで餅つきは中止になったがそのほかは、計画通りに実行している。季節ごとの旬の食材やメニューは委託業者と連携し取り入れ利用者に喜ばれている。デザートサービスがあるので昼は比較的豪華な食事であるが朝食をもう少し改善できたよかった。</p>	<p>コロナが落ち着いてきて全体の行事ができるようになったら皆さんに喜んでもらえるような行事食等を提供していきたい。食材料費の高騰で質が落ちないよう対策を考えていかなくてはいい。</p>

## 2 参考資料

### <年間行事等>

月	共通	特養	デイサービス
4	お花見メニュー (13 日) 残食調査		おやつレク (25 日)
5	端午の節句メニュー (5 日) 味ごよみメニュー (6 日) 給食委員会 (26 日) 残食調査	春のおやつレク (1.2 階 ; 26 日)	おやつレク (25 日)
6	食中毒予防研修 (28 日 ; 明治担 当者より講義) 残食調査	春のおやつレク (3 階 ; 2 日)	ケーキ作り (30 日)
7	七夕メニュー (7 日) みんなの日曜日 (10 日 ; たいめ んけんハヤシライス) 給食委員会		
8	お盆メニュー (13 日) 味ごよみメニュー (23 日) 残食調査		
9	敬老の日メニュー (19 日) おはぎ提供 (23 日) 給食委員会 (22 日)		
10	10 月味ごよみ (18 日) ハロウィンメニュー (31 日) 残食調査		味噌汁作り (20 日) おやつレク (12 日)
11	給食委員会 (24 日)	秋のおやつレク (1.2 階 ; 10 日、 3 階 ; 17 日)	らーめん屋台 (29 日) おやつレク (14 日)
12	クリスマスメニュー (25 日) 年越しそば (31 日) 餅つき (中止)		おやつレク
1	お正月メニュー (1.2.3 日) 七草がゆ (7 日) みんなの日曜日 (8 日 ; ココイ チカレー) 給食委員会 (26 日)		鍋レク (24 日)
2	節分メニュー (3 日) V.D デザート (14 日) 残食調査	嗜好調査	握りずし (22 日) おやつレク (14 日)
3	ひなまつりメニュー おはぎ (21 日) 給食委員会 (23 日)	握りずし (17 日)	おやつレク (16 日)

◎デイスサービスセンター こぐち苑 通所介護

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 新規利用者の獲得に努め、稼働率65%以上を目指す。</p>	<p>① 稼働率は63.00%で目標稼働を達成する事ができなかった。新規利用者の獲得は昨年と同じ17名でした。令和4年10月～令和5年3月までの間は職員や利用者、利用者家族に新型コロナウイルスの陽性者が出たものの、デイスサービスを休業する事なく営業を続ける事ができた。新型コロナウイルスや持病の悪化、怪我などでデイスサービスの利用キャンセルがあり思うように稼働を上げる事ができなかった。</p>	<p>① 安定した収入を得る為、稼働率65%以上を目指す。利用者と家族が安心してデイスサービスを利用できるように感染対策をおこない新規利用者の獲得に力を入れる。</p>
<p>② 利用者の意向を尊重し在宅生活が継続できるように心身機能の維持・向上に努める。</p>	<p>② 個別機能訓練やレクリエーションでのゲーム、余暇活動で身体を動かす機会を提供する事ができた。新型コロナウイルスの感染状況により行事の中止や縮小が余儀なくされ、楽しみの機会が減ってしまったが日常生活の些細な喜びや楽しみを大切にして利用者に向き合う事ができた。</p>	<p>② 基本的な感染対策を徹底し利用者の楽しみや喜びが得られるように行事や苑のイベントを行っていく。</p>
<p>③ 外部研修や内部研修を企画し職員の知識や技術習得を促す。</p>	<p>③ デイスサービス会議の内部研修でアンガーマネジメントやノロウイルス吐物処理の研修を行った。Web研修を行う事で業務の空き時間を利用して研修を進める事ができた為、今後も継続して研修を進めていきたい。</p>	<p>③ 夕方の送迎を調整し、施設の委員会や研修会に出席する機会を設けたい。</p>



## 2 参考資料

### <利用状況>

	稼働 日数	状態区分	新規利 用者数	実利用者数			延利用者数			一日平均	稼働率 (35名)	稼働率 (30名)
				男	女	計	男	女	計			
4月	26日	要介護	1	14	35	49	125	375	500	19.23名	62.75%	73.21%
		要支援	0	5	7	12	25	43	68	2.62名		
		障 害	0	1	0	1	3		3	0.12名		
5月	26日	要介護	0	15	34	49	129	377	506	19.46名	63.52%	74.10%
		要支援	0	5	7	12	27	43	70	2.69名		
		障 害	0	1	0	1	2	0	2	0.08名		
6月	26日	要介護	1	17	34	51	131	389	520	20.00名	64.62%	75.38%
		要支援	0	4	7	11	21	44	65	2.50名		
		障 害	0	1	0	1	3	0	3	0.12名		
7月	26日	要介護	0	16	32	48	126	384	510	19.62名	64.51%	75.26%
		要支援	1	5	7	12	28	46	74	2.85名		
		障 害	0	1	0	1	3	0	3	0.12名		
8月	26日	要介護	0	16	31	47	133	347	480	18.46名	61.76%	72.05%
		要支援	0	5	7	12	31	49	80	3.08名		
		障 害	0	1	0	1	2	0	2	0.08名		
9月	24日	要介護	1	18	30	48	150	315	465	19.38名	63.81%	74.44%
		要支援	1	6	7	13	28	40	68	2.83名		
		障 害	0	1	0	1	3	0	3	0.13名		
10月	26日	要介護	1	17	32	49	142	366	508	19.54名	64.29%	75.00%
		要支援	1	4	8	12	25	49	74	2.85名		
		障 害	0	1	0	1	3	0	3	0.12名		
11月	26日	要介護	2	17	31	48	139	328	467	17.96名	60.44%	70.51%
		要支援	1	5	9	14	30	52	82	3.15名		
		障 害	0	1	0	1	1	0	1	0.04名		
12月	27日	要介護	1	18	32	50	139	343	482	17.85名	62.01%	72.35%
		要支援	2	6	10	16	31	71	102	3.78名		
		障 害	0	1	0	1	2	0	2	0.07名		
1月	26日	要介護	0	17	31	48	141	318	459	17.65名	62.75%	73.21%
		要支援	1	7	10	17	38	71	109	4.19名		
		障 害	0	1	0	1	3	0	3	0.12名		
2月	24日	要介護	1	16	30	46	129	289	418	17.42名	62.02%	72.36%
		要支援	1	7	10	17	36	64	100	4.17名		
		障 害	0	1	0	1	3		3	0.13名		
3月	27日	要介護	0	18	29	47	149	320	469	17.37名	63.60%	74.20%
		要支援	1	10	11	21	56	76	132	4.89名		
		障 害	0	0	0	0	0	0	0	0.00名		
合計	310日	要介護	8	199	381	580	1,633	4,151	5,784	20.44名	63.00%	73.51%
		要支援	9	69	100	169	376	648	1,024	3.62名		
		障 害	0	11	0	11	28	0	28	0.10名		

<延べ利用人数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護5	53	54	78	72	55	52	53	56	64	59	64	72	732
要介護4	50	47	23	26	24	32	30	22	25	22	21	29	351
要介護3	54	68	70	90	95	99	112	93	99	81	94	115	1,070
要介護2	130	168	176	177	178	157	191	158	186	178	133	145	1,977
要介護1	213	169	175	145	128	125	122	138	108	119	106	108	1,656
要支援2	51	52	48	46	49	10	50	53	74	74	70	76	653
要支援1	17	18	17	28	31	22	24	29	28	35	30	56	335
申請中						1							1
障害	3	2	3	3	2	3	3	1	2	3	3	0	28
計	571	578	590	587	562	501	585	550	586	571	521	601	6,803
平均介護度	2.20	2.31	2.34	2.42	2.38	2.42	2.41	2.36	2.48	2.40	2.53	2.60	2.40

<行 事>

	行 事 内 容
4 月	お楽しみ会 (22 日)、手作りおやつ (よもぎ蒸しパン) (25 日)
5 月	手作りおやつ (プリンアラモード) (25 日)、お楽しみ会 (28 日)
6 月	運動会 (14 日)、ケーキバイキング (30 日)
7 月	夏祭り (21 日、22 日)
8 月	納涼祭 (9 日、10 日)
9 月	敬老会 (26 日)、手作りおやつ (新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止)
10 月	手作りおやつ (あんみつ) (12 日)、手作り味噌汁 (20 日)
11 月	手作りおやつ (かすてら) (14 日)、ラーメン屋台 (28 日)、
12 月	クリスマス会 (22 日)、餅つき大会 (新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止)
1 月	新年会 (10 日)、すき焼き鍋パーティー (25 日)
2 月	寿司バイキング (22 日) 手作りおやつ (クレープ恵方巻) (25 日)
3 月	手作りおやつ (ホールケーキ) (16 日)、お楽しみ会 (31 日)

<実習生・体験学習受け入れ>

今年度は受け入れありませんでした。

<内部研修、web 研修>

	研修内容	参加者	開催場所
4 月	通所介護集団指導 送迎研修 (酒気帯び運転)	田中、落合 職員全員	こぐち苑 1 階会議室 デイルーム
5 月	事故対策のポイント	職員全員	デイルーム
6 月	食中毒の予防研修 AED 研修	職員全員	デイルーム こぐち苑 1 階会議室
7 月	高齢者の為の熱中症対策研修	職員全員	デイルーム
8 月	高齢者虐待防止研修	田中	こぐち苑 1 階会議室
9 月	高齢者虐待防止研修	田中	こぐち苑 1 階会議室
11 月	アンガーマネジメント研修	職員全員	デイルーム
12 月	サラヤ主催ノロウィルス吐物処理	職員全員	デイルーム
2 月	システム説明動画	田中、落合	こぐち苑 1 階会議室
3 月	通所介護集団指導	田中、落合	デイルーム

◎居宅介護支援事業 こぐち苑 在宅福祉課

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 利用者の課題を的確に捉え利用者が望む生活ができるように支援する。</p>	<p>① 利用者よりも家族の困りごとや要望の訴えが強いとそちらに耳を傾けがちだが、利用者の強みや今できていることを家族に理解していただけるように伝え、利用者の意向を支援者全員で把握できようように努めた。利用者の急激な変化により施設への入所を決断する家族が多かった。同居していない家族にも日頃の状態を伝えていくことの大切さを感じ、メールやラインを活用しこまめに情報提供を行った。</p>	<p>① 病気や認知症の進行についての理解を深め、利用者の急激な変化により家族が動揺しないように先に予想される病状や状態の変化について適切に伝えられるようにしていく。</p>
<p>② 介護保険制度や必要な制度を利用者や介護者にわかりやすく説明する。</p>	<p>② 制度の複雑化や介護者の高齢化により制度を理解していただくのが難しくなっている。根気強く、わかりやすくを心掛け、説明を繰り返し行った。</p>	<p>② 様々な制度を利用していただけるように幅広い情報提供を継続していく。</p>
<p>③ 事業所内、他事業所介護支援専門員や他機関関係者との連携をより深める。</p>	<p>③ 今年度は困難ケースの対応について他機関とうまく連携を図ることができた。地域包括支援センターと連携して地域ケア</p>	<p>③ 支援困難と感じるケースについてはケアマネジャーひとりで抱え込</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
	会議を行い、認知症初期集中支援チームと連携して受診とサービス利用に拒否のある利用者の支援を行った。	まずは早めに相談すること心掛けていく。事業所内で解決しないことは他機関への相談を積極的にしていく。
④ 主任介護支援専門員として地域への社会貢献ができるように努める。	④ コロナ禍で地域の方たちと直接交流をすることはできなかった。地域包括支援センターと連携して民生委員との情報交換を行うために圏域ケア会議に参加した。	④ 利用者の支援だけでなく地域課題を発掘し、解決していくという役割を果たせるようにしたい。
⑤ BCP（業務継続計画）作成の準備を進める。	⑤ 感染症の感染拡大が起こった時や災害時でも利用者へのサービス提供を継続できるように考えてきた。リモートワークやリモートで家族にサービス担当者会議に参加していただくことを実践し、活用することができた。	⑤ 感染拡大時や災害時だけでなく遠方の家族とも気軽にコミュニケーションが図れるようにリモートの活用をしていきたい。
⑥ 感染症予防対策に力を入れる。	⑥ 自らの感染症予防対策には十分に注意し、担当利用者や家族への声掛けを訪問の度に行った。新型コロナウイルスの影響で通所サービス事業所の休業が相次い	⑥ 今後も感染症予防対策に力を入れ、感染症発生時にも利用者のサービス利用に支障が出な

事業計画	事業評価	今後の課題
	だが、本人や家族と具体的な対応策を事前に相談しておくことで混乱なく経過することができた。	いように早急な対応ができるようにしていきたい。

## 2 参考資料

### <支援給付実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
管理数	71	72	71	75	75	73	75	74	73	70	66	65	860
給付管理数	68	68	69	71	70	69	71	69	68	68	62	62	815
要介護1	22	23	23	25	25	26	28	31	30	29	26	25	313
要介護2	24	22	22	23	22	22	22	21	20	20	19	19	256
要介護3	15	16	18	17	17	15	13	12	13	14	14	14	178
要介護4	3	4	3	3	3	2	3	3	3	4	2	1	34
要介護5	4	3	3	3	3	4	5	2	2	1	1	1	32
申請中	(1)	(2)	0	0	0	0	0	(3)	(2)	(1)	0	2	
新規給付開始数	3	2	1	3	2	1	2	4	1	0	0	1	20
介護支援終了者数	3	1	0	0	3	1	4	1	0	5	2	3	23
予防管理数(委託分)	14	14	14	15	15	15	15	15	17	16	17	16	183
予防給付管理数	13	13	14	15	15	15	14	15	17	16	16	15	178
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	5	5	5	5	5	6	5	7	9	8	9	8	77
要支援2	7	7	8	9	9	8	8	7	7	7	6	6	89
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規予防給付開始数	1	0	1	2	0	0	0	2	1	0	1	0	8
予防支援終了者数	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
認定調査数	4	8	5	4	4	6	6	6	10	4	6	9	72

### <研修・外部会議出席報告>

	研修・会議内容	会場	参加者
4月	主任ケアマネの会秋葉 情報交換会 (22日)	特養あがうら	吉田
	学研研修「実地指導について①」 (22日)	web 研修 (Zoom)	吉田 佐藤
5月	学研研修「実地指導について②」 (24日)	web 研修 (Zoom)	吉田

	研修・会議内容	会場	参加者
6 月	新潟県介護支援専門員協会 「災害対策研修」(10 日)	web 研修 (Zoom)	吉田
	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会 「BCPについて」(16 日)	web 研修 (YouTube)	吉田 佐藤
	主任ケアマネの会秋葉 情報交換会 (24 日)	特養あがうら	佐藤
7 月	秋葉区主任介護支援専門員学習会 「事例検討会」(4 日)	秋葉区役所 601 会議室	吉田 佐藤
8 月	新潟市虐待防止研修「要介護施設・事業所に求められるアンガーマネジメントの必要性和基本的理解」(23 日)	web 研修 (YouTube)	吉田 佐藤
	主任ケアマネの会秋葉 情報交換会 (26 日)	特養あがうら	吉田
9 月	居宅事業所主催事例検討会 (2 日)	特養あがうら	吉田 佐藤
	新潟市高齢者虐待防止研修 (5 日)	web 研修 (YouTube)	吉田 佐藤
	福祉関係者のための権利擁護・成年後見講座 (7 日)	web 研修 (Zoom)	吉田
	秋葉区介護支援専門員部会 「カスタマーハラスメント」(15 日)	秋葉区役所 601 会議室	佐藤
10 月	福祉関係者のための権利擁護・成年後見講座 実践編 (3 日)	ユニゾンプラザ	吉田
	新津第五圏域ケア会議 「地域でできる除雪の取り組み」(25 日)	新津健康センター	吉田 佐藤
	主任ケアマネの会秋葉 情報交換会 (28 日)	特養あがうら	佐藤



	研修・会議内容	会場	参加者
11 月	秋葉区 3 包括合同研修会 「認知症の人の日常生活、社会生活における意思決定支援」(4 日)	秋葉区役所 601 会議室	吉田 佐藤
	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会「衣食美住に着目したケアプランを考える」(15 日)	web 研修 (YouTube)	佐藤
	新潟県介護支援専門員協会学習会 「ACP、ケアプラン点検について」(28 日)	web 研修 (YouTube)	佐藤
12 月	新津第五圏域ケース検討会 「入退院時の連携について」(1 日)	新津健康センター	吉田
	苑内研修「プライバシー保護について」(1 日)	こぐち苑会議室	吉田
1 月	新潟市集団指導 (13 日)	web 研修 (YouTube)	吉田 佐藤
	認定調査員現任研修 (19 日)	秋葉区役所 601 会議室	吉田 佐藤
2 月	ケアプラン連携システムについて (16 日)	web 研修 (YouTube)	吉田 佐藤
3 月	新津第五圏域管理者学習会 (2 日)	地域包括日宝町会議室	吉田
	適切なケアマネジメント研修 (16 日)	web 研修 (YouTube)	吉田

◎生活支援ハウス こぐち苑

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
① 入居者の能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援する。	① 令和4年度は新規入居者1名、退所者1名でした。急な体調不良や怪我で受診が必要となるケースがあった。訪問診療や受診の付き添いを行い支援した。	① 入居者が生活支援ハウスの生活にサポートする。
② 入居者に日常生活を営むため必要な居室及び共用施設等を利用頂き、各種サービスを提供する。	② 入居者の状態を確認しながら、介護保険申請や行政の手続きをおこなった。必要なサービスを提案し導入する事ができ、サービスを利用する事で生活支援ハウスの生活を継続している。	② 入居者と身元引受人の意向を確認しながら支援を行う。

2 参考資料

<行事> ※デイサービスの行事に参加

	行	事	内	容
7月	21日(木)、22日(金)	夏祭り		
12月	28日(水)	餅つき	(新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止)	

◎特別養護老人ホーム やしろだ苑 施設福祉課指導係・介護係

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

(1) 指導係について

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 職種間、関係機関などと密な連絡を行い利用者や家族が安心して生活が送れるように支援する。</p>	<p>① 面会制限が続いており利用者の様子などを心配される家族も多かった。利用者を個々に心配事や希望などを聞き取り、必要に応じて家族に連絡しながら安心して生活が送れるよう支援した。また、施設から連絡を行う時や家族から様子を聞かれた時は細かく丁寧に利用者の様子を伝え、家族にも安心して頂けるように努めた。</p> <p>やむを得ない事情で他施設へ移られる利用者があり、関係施設と密に連絡を取りながら、書類作成や手続きなど行い、移動先の施設でも安心して生活が送れるように支援した。</p>	<p>① 利用者や家族の意向を確認し、各関係機関や他事業所と情報共有しながら、安心して施設での生活が送れるように努める。</p>
<p>② 職員が意欲的に働けるような環境づくりを行う。</p>	<p>② 外部研修では接遇や知識、技術向上を図る為に勤務調整を行い、事前課題などにも相談に乗り意欲的に参加できるように努めた。喀痰吸引や実習指導者の資格取得を希望する職員もおおり、研修期間や申込の確認を行った。</p>	<p>② 知識や技術向上に向け、自主的に研修へ参加できるように情報提供を行う。</p> <p>職員の声に耳を傾け、一緒に取り組めるよう</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
	<p>内部研修ではこぐち苑での研修内容のWeb や DVD を借り、研修期間を長く設定して多くの職員が受講できるように、職員への協力を呼び掛けた。</p> <p>コロナ禍で欠勤せざるを得ない職員もいたが、全職員で都度協力し合い、負担が偏らないように調整を行った。</p>	<p>に相談やアドバイスを 行い、意欲的に取り組めるように働きかける。</p>
<p>③ 稼働率 95%を目指し、スムーズな入所ができるようにする。</p>	<p>③ 平均稼働率 96.58%と目標を達成したが、急な退所や入院者があり稼働が悪い月もあった。入所申込があった時は申込書を持参した方やケアマネ、相談員等に申込内容や状態、環境などの確認を行い情報収集に努めた。</p> <p>事前面接の約束を行うが面接予定者の急な入院や他施設と面接が重なることが度々あった。感染症が蔓延した事業所もあり、クラスター終息後にアイシールド着用し、感染予防対策を行いながら面接に伺い待機者確保に努めた。</p> <p>利用者が入院した時は細目に医療機関に状態確認を行い、他職種と連携し早めの退院に向けて準備を行った。また、入院者の空床をショートステイの空床利用活用に努めた。</p>	<p>③ 利用者の体調管理や長期入院にならないように早めの対応を心がける。</p> <p>入所申込内容の確認と面接を行い、安心して入所できるよう家族へ丁寧に分かりやすく説明し、待機者確保に努め、未契約日数が少なくなるように努める。</p>

(2) 介護係について

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 一人ひとりの利用者との関わりを大切に して、日々の暮らしに楽しみを持って ただけるように支援を行う。</p>	<p>① 利用者とコミュニケーションをとりなが ら、楽しみを見つけて出すために積極的 に関わりを持つように心掛けた。個別の ハビリや散歩・卓球など個々に合った 余暇活動を行い、日々の暮らしに楽し みを持って頂けるように努めた。しか し、意思疎通が可能な方や訴えがあ る方の対応が優先的になる事が多 く、訴えることが困難な利用者 に対する余暇活動の支援が十分 ではなかった。</p> <p>感染予防対策で餅つき大会・新年会 など、苑全体やブロック毎の行事が 中止又は内容を変更することも多 く、行事が計画通りにならない事 もあつたが、職員は業務を行いなが ら行事の準備を行った。特に敬老祭 りはやしろだ苑での一大イベント であり、利用者と一緒に準備を行 い、敬老祭りを楽しみにしている 方も多く、急遽規模を縮小しての 開催になったが大変喜ばれた。ま た、担当職員が負担にならない ように職員同士、話し合い協力し ながら行うことができた。</p>	<p>① 一人ひとりの楽しみを見 つけ出し、それを支 援に繋げられるよう 皆で考え、実行す る。感染症予防を行 いながらもできる 余暇活動や行事を計 画・実施する。意 思疎通が困難な 方・訴えない方 にもその方に合 わせたコミュニ ケーションをと り、些細な表情や 言動から気持ちを汲 み取りながら楽し みを見出し支援す る。</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>② 職員間で介助方法を話し合い、利用者・介助者の怪我のリスク低下を図る。</p>	<p>② カンファレンスやブロック会議で介助方法の見直しを行ないながら、安全な介助方法を考える事ができた。しかし、利用者の内出血の事故報告やヒヤリハットが種類の中でも多いため、移乗などの身体介助で危険な介助はしていないか、今後その都度、安全・安楽な介助方法を検討し怪我の予防に努めていく。職員も腰痛などに気をつけ無理をしないように協力し合いながら業務を行った。</p>	<p>② 内出血など外傷の事故報告やヒヤリハットが多いため、日頃からヒヤリハットを積極的に出し、職員で情報共有しながら事故防止に努めていく。また、不適切なケアがあれば放置せず、その都度ケアの見直し・業務の見直しを行い改善に努める。</p>
<p>③ 内部研修に自主的に参加し、知識・技術の向上に努める。</p>	<p>③ こぐち苑での研修には自主的に参加することが少なかったが、やしろだ苑での研修には事前に業務調整を行い、職員同士声を掛け合いながら積極的に参加した。研修で学んだ事を日頃のケアに取り入れスキルアップに繋げるよう努力した。</p>	<p>③ 内部研修以外の参加率が低いため、知識、技術向上を目指すために、引き続き職員に声を掛け参加を促していく。</p>

## 2 参考資料

### 〈入退所者状況・稼働率〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計/平均
新規入所者数	1	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	6
退所者数	2	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	6
月末在籍者数	28	29	29	29	29	29	29	28	29	29	29	29	
入院者数	1	2	1	2	1	1	2	1	1	2	1	2	17
入院者延べ日数	14	11	4	29	17	25	56	42	31	16	28	22	295
未契約延べ日数	7	30	0	0	5	0	4	13	0	0	0	0	59
外泊者延べ日数	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
合計	23	44	6	30	22	25	60	55	31	16	28	22	302
延べ人数	847	855	864	869	877	845	839	815	868	883	784	877	10,223
稼働率	97.36%	95.11%	99.31%	96.66%	97.55%	97.13%	93.33%	93.68%	96.55%	98.22%	96.55%	97.55%	96.58%

### 〈要介護度状況〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
要介護4	14	14	14	14	13	13	12	13	11	10	9	9	9
要介護5	6	6	6	6	7	7	7	6	9	10	11	11	11
計	29	29	29	29	29	29	28	28	29	29	29	29	29
平均介護度	3.79	3.79	3.79	3.79	3.83	3.83	3.82	3.79	3.90	3.93	3.97	3.97	3.97

### 〈受診・往診(件数)〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
受診	9	9	9	11	11	9	16	10	5	6	4	6	105
往診	14	13	12	10	10	11	9	18	11	12	11	9	140
合計	23	22	21	21	21	20	25	28	16	18	15	15	245
うち協力医療機関受診件数	7	7	7	9	8	7	13	8	3	4	2	4	79

### 〈月末時入院件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入院	1	2	1	1	0	1	2	1	1	1	1	2	14
うち協力医療機関入院件数	1	1	0	1	0	0	2	1	1	1	1	1	10

### 〈月末時退院件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
退院	0	1	0	1	1	0	0	3	0	1	0	2	9
うち協力医療機関退院件数	0	1	0	0	1	0	0	3	0	1	0	1	7

< 体験学習・実習・ボランティア >

	氏 名(団 体)	内 容
5月	新潟医療福祉カレッジ	介護福祉士養成実習(2名) (5月18日～6月21日)
9月	小須戸中学校	職場体験(2名) (9月21日～22日)
11月	新潟医療福祉カレッジ	介護福祉士養成実習(2名) (11月14日～12月2日)

※今年度は感染症予防対策のためボランティアの受入れはありませんでした。

< 外部研修 >

	研 修 内 容	参加者	場 所
6月	福祉職の接遇マナー研修(30日)	樋口 陸 鈴木 希夢	新潟ユニゾンプラザ
8月	福祉職員キャリアパス中堅研修(25.26日)	小柳 真愛	新潟ユニゾンプラザ
	新潟市養護施設等高齢者虐待防止研修 (Web)(23.29日)	地濃 やよい 片桐 久美子	やしろだ苑会議室
10月	福祉職員キャリアパスリーダー研修(3.4日)	宮野 大	新潟ユニゾンプラザ
	喀痰吸引等研修(7日～11月8日)	長澤 みどり	あがの八雲園
	包括こすど圏域高齢者虐待防止研修(21日)	片桐 久美子	地域包括支援センター こすど 地域連携室
11月	結核研修(29日)	高橋 将美	新潟テルサ
	福祉職員キャリアパス中堅研修(16.17日)	塚野 翔太	新潟ユニゾンプラザ



< 内 部 研 修 >

	研 修 内 容	参加者	場 所
6月	認知症ケア(パーソンセンタードケア) (YouTube) (8日～14日)	16名	やしろだ苑会議室
	持ち上げない介護(YouTube) (24日～7月8日)	14名	やしろだ苑会議室
7月	リスクマネジメント研修(29日)	2名	こぐち苑会議室
10月	虐待防止、身体拘束廃止に向けて研修 (26日)	2名	こぐち苑会議室
11月	看取りケアについて(14日)	1名	こぐち苑会議室
	嘔吐物処理方法(YouTube) 嘔吐物処理実践練習 (22日)	15名	やしろだ苑 きんもくせいユニット
	アンガーマネジメント(YouTube) (30日～12月12日)	22名	やしろだ苑会議室
12月	プライバシー保護研修(1日)	2名	こぐち苑会議室
	褥瘡予防(17日)	2名	こぐち苑会議室
3月	リスクマネジメント(DVD) 身体拘束の排除(YouTube) (14日～27日)	18名	こぐち苑会議室

< 行 事 ・ 会 議 >

	事 業 内 容
4月	あじさい・なのはなバスハイク(11日) さくらそう・きんもくせいバスハイク(12日) おやつバイキング(25日)
5月	あじさい・なのはなバスハイク(13日) さくらそう・きんもくせいバスハイク(16日) 茶話会(22日) 運営推進会議(31日)
6月	あじさい・なのはな調理レク(15日) さくらそう・きんもくせい調理レク(20日) 避難訓練(24日) 冷やし中華レク(7日)
7月	さくらそう・きんもくせい七夕祭り(7日) あじさい・なのはな七夕祭り(10日) やしろだ苑まつり委員会第1回(9日) 運営推進会議(26日)
8月	職員健康診断(8日) さくらそう・きんもくせいスイカ割り(12日) やしろだ苑まつり委員会第2回(24日) 花火大会(29日)
9月	やしろだ苑敬老祭り(8日、88才1名) やしろだ苑敬老会祭り反省会(8日、終了後) 中学生職場体験(21日、22日)
10月	あじさい・なのはなバスハイク(24日) さくらそう・きんもくせいバスハイク(21日、27日)
11月	ラーメン屋台(2日) さくらそう・きんもくせい調理レク(9日、23日) あじさい・なのはな調理レク(13日)
12月	おやつバイキング(9日) 避難訓練(夜間想定)(13日) さくらそう・きんもくせいクリスマス会(23日) あじさい・なのはなクリスマス会(24日)
1月	さくらそう・きんもくせい新年会(2日) あじさい・なのはな新年会(8日)
2月	あじさい・なのはな豆まき(3日) さくらそう・きんもくせい豆まき(4日) 寿司バイキング(27日)
3月	あじさい・なのはなお雛祭り(3日) さくらそう・きんもくせいお雛祭り(3日) 職員健康診断(6日) 運営推進会議(28日)

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 利用者の個々の疾病やADLを把握し、基本疾患の悪化予防と心身の健康維持に努め、体調変化の際は、迅速な対応と適切な処置を行う。</p>	<p>① 令和4年度は5名の新規利用者があった。利用者の生活歴、家族背景、既往歴、治療過程を情報収集し現状を把握した上で健康管理ができるよう努めた。利用者の中には、認知症の方も多く訴えや症状がはつきりわからない場合が多い。日々の関わりや介護職からの情報をもとに体調変化がないか観察を行った。急変対応では低血糖や脳梗塞の疑い、呼吸不全等があったが迅速に対応することができた。</p>	<p>① 利用者の健康維持ができ、活動性の低下を予防しその人らしい日常生活が継続できるように支援する。</p>
<p>② 高齢者施設は、クラスター発生のリスクが高い為、基本的な感染対策を徹底し感染症の発生予防と蔓延に努める。</p>	<p>② 施設のコロナ感染状況としては、利用者が入院先での罹患が1名、職員は家庭内感染による罹患が2名でしたが、施設内の感染拡大はなく利用者の日常生活を守る事が出来た。疑わしい症状の際には抗原検査を積極的に行い、重症化予防の為にワクチン接種を推奨し実施した。コロナ以外の様々な感染症でも高齢者施設はクラスターになりやすい為、標準予防策の</p>	<p>② 新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も基本的な感染対策は継続し感染者を早期に把握し迅速な対応によりクラスターを発生させない。</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>③ 褥瘡が発生しないようハイリスク者のアセスメント及び計画をたて実施と管理を行う。</p>	<p>徹底を継続し流行状況を把握しながら感染源、感染経路に応じた対応を今後も行っていく。</p> <p>③ 褥瘡予防と褥瘡が発生した場合には関連職員と対策をたて管理を行った。利用者の中には利用開始時より褥瘡を保有している場合もあった。治癒したあとも皮膚の保湿を行い再発予防に努めた。終末期の利用者は衰弱があるため褥瘡の発生率が高くなっている。早い段階からスキンケアを始めエアーマットの使用や体位変換を行い、褥瘡対策を行った。褥瘡が発生した際は症状にあった処置を行い悪化予防に努めた。</p>	<p>③ 褥瘡の発生予防と治癒にむかうよう対策を講じ、日頃から予防的スキンケアにも取り組む。</p>
<p>④ 経管栄養者の口腔内の清潔保持に努め、誤嚥性肺炎の予防に努める。</p>	<p>④ 長期経管栄養（胃瘻）利用者が2名と短期利用者1名のケアにあたった。口腔内の唾液とともに雑菌を誤嚥することによる肺炎や、口腔内が乾燥しないように1日3回以上口腔ケアを実施し清潔の保持に努めた。今後も誤嚥性肺炎での入院が減るように口腔の清潔保持に努めていく。</p>	<p>④ 口腔内の衛生状態を良好に保ち肺炎を予防する。</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>⑤ 利用者が老衰状態や回復不可能な状態となり、本人や家族が治療を望まない時は、残された日々を利用者や家族が望まれる生活を最後まで送れるように、終末期支援に努める。</p>	<p>⑤ 利用者や家族の希望にほぼ近い状態で見送れるように他職種と連携し支援を行った。コロナ禍でも居室で面会をして頂き様子を伝えた。「口から食べられるうちは長生きしてほしい」というお気持ちを伺い家族が持参した食べ物を誤嚥に注意しながら嚥下が可能な限り口にして頂くように対応をした。終末期は体重減少もあり衰弱は避けられないが、日々の関わりから安楽にすごせる事を最優先し他職種と支援に努めた。</p>	<p>⑤ 利用者、家族の意思を尊重し最期までの過程が安楽な日常生活となるよう支援する。</p>

## 2 参考資料

〈月別医療機関受診、入退院件数内訳〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累 計
内科	受診	4	6	3	5	4	4	8	6	3	3	1	3	50
	往診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	1	1	0	1	0	1	2	1	1	1	0	1	10
	退院	0	2	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	7
整形外科	受診	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	往診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	受診	2	1	1	2	3	2	3	2	0	0	0	0	16
耳鼻科	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	受診	1	0	1	0	1	0	2	0	0	1	1	0	7
脳外科	受診	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	入院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	退院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
婦人科	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	受診	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	受診	2	2	2	2	3	2	3	2	2	2	2	2	26
歯科	受診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	往診	14	13	12	10	10	11	9	18	11	12	11	9	140
受診合計		9	9	9	11	11	9	16	10	5	6	4	6	105
往診合計		14	13	12	10	10	11	9	18	11	12	11	9	140
入院合計		1	1	1	1	0	1	2	1	1	1	1	2	13
退院合計		0	2	0	1	1	0	0	3	0	1	0	2	9

◎特別養護老人ホーム やしろだ苑 施設福祉課栄養係

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 職種同士で連携し、入居者それぞれの状態を把握し、個々に適した食事を提供し、低栄養状態の予防に努める。</p>	<p>① 低栄養状態のリスクが高い方は特に注意し、看護師、介護職員と連携しながら状態の把握に努めた。食事が低下してきた利用者に対しては飲み込みの状態や嗜好にも配慮しながら少量でも栄養が補給できるような栄養補助食品を選択して食事に取り入れた。また、食事量の低下と共に水分摂取量の低下も見られるため、嗜好やとろみの粘度、温度などにも配慮しながら水分を提供し、脱水の予防にも努めた。</p>	<p>① 引き続き低栄養利用者の状態把握に努め、低栄養状態にならないように各職種と連携しながら予防に努める。</p>
<p>② 看護師、他職種と連携しながら、皮膚状態の観察を行う。適切な栄養管理を行い、褥瘡の発生防止を目指すしていく。</p>	<p>② 特養の利用者は、褥瘡ができてしまった方もいたので、看護師の処置、臥床時の体位変換などによる除圧、必要に応じて皮膚科の受診をして治療しながら、栄養面では、皮膚再生に必要な栄養素が不足しないように栄養管理を行った。ショートステイの利用者でも褥瘡がある方がいたため、嚥下状態に合わせて栄養補助食品を選択し、褥瘡改善に取り組んだ。</p>	<p>② 褥瘡を予防するために、食事摂取状況や、皮膚の状態、寝ている時の姿勢などを総合的に考える必要があるため、多職種と連携して、普段から情報交換をしながら予防に努めることが必要。</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>③ 食事の様子観察を重点的に行い、摂取状況を把握して口腔機能の変化を早急に発見できるようにする。口腔機能の低下がみられる場合は、速やかに食事内容を改善し、誤嚥性肺炎の予防に努める。</p>	<p>③ 認知症や失語症の方は、歯や歯茎の異常を自ら伝えることができない場合もあるため、毎日の食事観察により、口腔機能に変化がないか把握するようにした。自歯の欠損、義歯の破損、不具合などで嚙むことに支障が出ていた利用者に対しては速やかに食事形態を変更して、安全に食事ができるように努めた。誤嚥性肺炎の予防には、安全な食形態で食事をすることも重要だが、口腔内を清潔に保ち、歯や歯茎の健康を維持することも重要である。そのため、介護職員を中心に毎食後の口腔ケア時に口腔内の清掃、観察を行い、口腔内を清潔に保つことにより誤嚥性肺炎の予防に努めることができた。</p>	<p>③ 看護師を主体としながら歯科医師や歯科衛生士（外部）と協力し研修を行っていききたい。口腔についての外部研修があれば積極的に参加する。苑内でも研修を実施し、施設全体として口腔衛生についての知識をより一層深められるようにする。</p>
<p>④ 旬の食材を使用し、季節に合わせた食事の提供、イベントを行う。見た目や盛り付けにも配慮し、おいしく楽しい食事作りをしていく。</p>	<p>④ スマイルデザートデイとして、赤肉のメロンやサクランボなど旬の果物を提供した。旬の果物は美味しいだけでなく、見た目も鮮やかになり、季節も感じられるため、大変好評であった。また、果物以外でも、モンブラン（栗を使用）やアイス（暑い季節に）などを提供し、その時期に合ったデザートを提供することになった。イベントは、予定通りに開催することができた。おやつバイキングや寿司バイキングは、感染症に配慮して全員集合して</p>	<p>④ 利用者が楽しんで食べられる果物やデザートを今後も継続して提供していく。まだまだ感染症には配慮しなければならぬが、年に1度くらいは地域交流スペースにて利用者全員が集合してできるイベントを開催したい。</p>



事業計画	事業評価	今後の課題
	<p>イベントを開催することはできなかったが、季節を感じ、いつもと違った雰囲気を感じてもらえたのではないかと思う。</p>	

## 2 参考資料

### <行事・研修会等>

月	特養・ショートステイ 行事	委員会・研修会
4	吉野家の親子丼提供 (10 日) お花見メニュー (13 日) デザートバイキング (25 日) 残食調査 (26～28 日)	給食委員会 (26 日)
5	端午の節句メニュー (5 日) 残食調査 (23～25 日)	
6	スマイルデザートデイ (メロン) (6 日) 冷やし中華レク (7 日) 残食調査 (27～29 日)	給食委員会 (28 日)
7	七夕メニュー (7 日) スマイルデザートデイ (さくらんぼ) (10 日) ココイチカレー (17 日) 土用の丑メニュー (23 日) 残食調査 (26～28 日)	
8	吉野家の親子丼 (7 日) スマイルデザートデイ (シャインマスカット・巨峰) (13 日) 残食調査 (28～30 日)	給食委員会 (25 日)
9	スマイルデザートデイ (アイス) (12 日) 敬老の日のメニュー (19 日) 秋分の日のメニュー (23 日) 日清創立 50 年記念ケーキ提供 (25 日) 残食調査 (25～28 日)	
10	スマイルデザートデイ (モンブラン) (12 日) 残食調査 (27～29 日)	新潟市給食施設指導会 (WEB 研修) (4 日) 給食委員会 (24 日)
11	ラーメン屋台 (2 日) スマイルデザートデイ (洋梨) (10 日) 残食調査 (25～27 日)	ノロウイルス嘔吐物処理研修 (内部研修、講師；東京サラヤ) (22 日)
12	おやつバイキング (9 日) スマイルデザートデイ (シナノゴールドりんご) (24 日) クリスマスメニュー (25 日) 残食調査 (21～23 日) 年越しそば (31 日)	給食委員会 (22 日)
1	お正月メニュー (1 日～3 日) 七草がゆ (7 日) 吉野家の牛丼 (22 日) スマイルデザートデイ (ショコラプディング) (27 日) 残食調査 (29～31 日)	
2	節分メニュー (3 日) たいめいけんハヤシライス (5 日) 寿司バイキング・スマイルデザートデイ (いちご) (27 日) 残食調査 (26～28 日)	給食委員会 (24 日)
3	ひなまつりメニュー (3 日) 春分の日のメニュー (21 日) スマイルデザートデイ (チョコレートケーキ) (15 日) 残食調査 (24～26 日) 嗜好調査 (10 日アンケート配布)	

◎特別養護老人ホーム やしろだ苑 短期入所生活介護課

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 利用者の情報を共有して統一したケアを行いながら残存機能の維持向上に努め、在宅生活が継続できるように支援していく。</p>	<p>① 訪問面接記録やケアプランの内容を確認しながら、利用者・家族の希望もふまえて残存機能の維持、向上ができるように支援した。しかし本人の意欲低下や依存により、機能を活かさない介助を行ってしまう場合もあった。新規や以前利用時と変化のある利用者の情報は、より詳細に情報を共有してより良い支援方法について検討した。機能が向上した利用者もあり、入浴方法や移動方法等を変更するなどして、在宅生活が継続できるように支援した。</p>	<p>① 看護師と協力しながら今後も機能維持、向上に努め、在宅生活が1日でも長く継続できるように支援していく。</p>
<p>② 利用者とのコミュニケーションを心掛け、「また利用したい」と思っていただけのような支援を行う。</p>	<p>② 入所・退所の多い日は業務優先となってしまう、利用者との時間を大切にすることができない日もあった。しかし積極的に会話することを心掛け、生活歴や趣味などを聞き取りながら会話が広がるように心掛けた。4年度後半は自立度の高い利用者が多く、個別での余暇活動（将棋、脳トレ等）に力を入れ、楽しんで頂けるように努めた。中には他者との交流を好</p>	<p>② 行事の企画や外出支援、個別での余暇活動を行う。また、丁寧な対応を心掛け、気持ちよく楽しく過ごしていただけるように努める。</p>

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>③ 平均稼働率 85% を目指す。</p>	<p>まない利用者もいるため、入浴中や居室に伺った際などに職員との交流を持ち、寄り添いながら安心して過ごしていただけるように支援した。</p> <p>③ 長期や定期的に利用される方の特養等への入所の動向を探りながら、居宅介護支援事業所や病院等へ空き情報の発信を続けた。他の事業所が感染症のため受け入れ困難となり、急な利用依頼も多かったが、可能な限り受け入れを行った。定期利用に繋がらない場合も多いが、4年度は新規で新潟市 31 名、加茂市 1 名、五泉市 8 名の利用があった。</p> <p>平均稼働率 82.38% で、目標の達成は出来なかった。</p>	<p>③ 長期・定期利用者の体調管理を行う。 居宅介護支援事業所等への空き情報発信を続けていく。</p>

2 参考資料

〈月別利用状況〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計/平均
新潟市秋葉区	22 (1)	22 (1)	25 (6)	23 (2)	26 (4)	22 (1)	24 (4)	25 (7)	26 (3)	23	18 (1)	20 (1)	276 (31)
その他	3	1	2	2	3 (1)	5 (2)	4 (1)	2	3 (2)	5 (2)	3	3 (1)	36 (9)
計	25 (1)	23 (1)	27 (6)	25 (2)	29 (5)	27 (3)	28 (5)	27 (7)	29 (5)	28 (2)	21 (1)	23 (2)	312 (40)
新潟市秋葉区	44	40	41	42	47	39	42	43	47	41	35	40	501
その他	4	1	3	3	3	5	5	2	3	5	3	3	40
計	48	41	44	45	50	44	47	45	50	46	38	43	541
新潟市秋葉区	255	238	225	207	227	210	203	225	262	233	206	241	2732
その他	16	9	20	17	21	41	37	18	14	46	19	17	275
計	271	247	245	224	248	251	240	243	276	279	225	258	3007
新潟市秋葉区	5.80	5.95	5.49	4.93	4.83	5.38	4.83	5.23	5.57	5.68	5.89	6.03	5.45
その他	4.00	9.00	6.67	5.67	7.00	8.20	7.40	9.00	4.67	9.20	6.33	5.67	6.88
平均日数	5.65	6.02	5.57	4.98	4.96	5.70	5.11	5.40	5.52	6.07	5.92	6.00	5.56
新潟市秋葉区	8.50	7.68	7.50	6.68	7.32	7.00	6.55	7.50	8.45	7.52	7.36	7.77	7.49
その他	0.53	0.30	0.67	0.57	0.70	1.37	1.23	0.60	0.47	1.53	0.63	0.57	0.76
平均人数	9.03	7.97	8.17	7.23	8.00	8.37	7.74	8.10	8.90	9.00	8.04	8.32	8.39
稼働率(%)	90.33%	79.68%	81.67%	72.26%	80.00%	83.67%	77.42%	81.00%	89.03%	90.00%	80.36%	83.23%	82.38%
特養空床利用延日数	6	2	0	0	14	10	3	7	11	3	0	0	56

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	2	8	5	7	0	3	25
要支援2	11	11	13	15	15	11	34	11	44	30	37	43	275
要介護1	4	10	8	6	7	24	4	9	45	54	33	37	241
要介護2	3	31	0	9	21	18	8	14	7	22	16	40	189
要介護3	118	84	103	97	104	92	55	77	56	82	65	43	976
要介護4	91	62	44	41	14	5	24	21	24	22	23	26	397
要介護5	44	49	77	56	85	100	113	103	89	59	50	66	891
申請中	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	1	0	7
計	271	247	245	224	248	251	240	243	272	277	225	258	3001
平均介護度	3.50	3.31	3.58	3.39	3.40	3.41	3.53	3.57	2.82	2.62	2.68	2.64	3.20

介護度別利用者数

◎にいつ福祉会 庶務課

1 令和4年度事業計画、事業評価、今後の課題

事業計画	事業評価	今後の課題
<p>① 介護職員については引き続き各学校への挨拶まわり、就職ガイダンスへ積極的に参加することで施設のアピールを行う。他職種でも退職や体調不良により人員が不足しないように、ハローワークとの連携や就職ガイダンスへの参加により人材確保に努めていく。</p>	<p>① 今年度はガイダンスに参加する機会が少なく、人材確保に不安が見られた為、積極的に学校訪問を行い、ハローワークと連携し施設のアピールを行った。令和5年4月から専門学校生2名、高校生1名の採用が決まっている。またハローワークから中途採用につながる職員も多く来ており、人材確保に努めることが出来た。</p>	<p>① 引き続き、学校への挨拶回りやハローワークとの連携を行い、人材不足にならないように努めていく。</p>
<p>② 各部署と連携しながら採用された職員が定着するように努める。</p>	<p>② 令和4年4月から新規採用になった職員は研修を終え、日中、夜間とも1人で業務を任せられるようになっていく。中途採用された職員も本人の業務の進捗状況を見ながら夜勤を開始し、職員に合わせた指導を行っていた。</p>	<p>② 引き続き職員に合わせた指導を行うことで、しっかりと定着出来るように各部署と連携する。</p>
<p>③ コロナ禍における新たなボランティアの受け入れを検討する。</p>	<p>③ 今年度も施設内で行事ボランティアの受け入れは全面中止となったが、清拭用布切ボランティア団体から各自切っていただいた布を提供していただいた。また、絵手紙ボランティア団体より季節感を感じられる手作りの塗り絵を提供していただいた。限定的ではあったが、新しい形でボランティアを受け入れることが出来た。</p>	<p>③ コロナウイルスに関して規制緩和が見られるが、ボランティアの受け入れに関しても改めて検討が必要。</p>

## 2 参考資料

### <活動内容>

4月	11日	新潟医療福祉カレッジへ訪問 (募集要項を持参し生徒の就職状況を確認する)
	18日	職員採用に向けての研修を ZOOM で受講
5月	9日	医療福祉カレッジ就職ガイダンスへ参加
	16日	高校生求人説明会へ参加
6月	30日	専門学校生就職採用試験
7月	5日	村松高校へ訪問
	7日	阿賀黎明高校へ訪問
	11日	五泉高校へ訪問
	15日	新津工業高校へ訪問 (募集要項を持参し生徒の就職状況を確認する)
	30日	高校生施設見学
8月	16日	開志学園高等学校へ学校訪問 (募集要項を持参し生徒の就職状況を確認する)
9月	なし	
10月	13日	高校生就職採用試験
11月	なし	
12月	なし	
1月	13日	新潟医療福祉カレッジへ訪問 (就職した学生の報告と介護職員実務者研修の参加依頼)
2月	18日	就職ガイダンスへ参加 (ユニゾンプラザ)
3月	5日	看護職員対象就職ガイダンス (web) へ参加 (新潟日報)

〈令和4年度 (R4.4.1～R5.3.31) 新規採用者・退職者〉

	新規採用者		退職者	
	正規職員	嘱託・パート	正規職員	嘱託・パート
こぐち 苑	3	3	7	0
	1	1	0	1
	0	0	0	0
	0	0	0	0
やしるだ 苑	0	0	2	0
	0	0	0	0
	4	4	9	1
計	8		10	
合計				



〈R5.3.31現在 事業所別資格取得状況〉

	こぐち苑				やしろだ苑		資格取得者計
	特養	デイサービス	居宅	生活支援ハウス	特養	ショートステイ	
社会福祉士	4	0	1	0	2	0	7
介護福祉士	49	8	1	1	15	7	81
管理栄養士	1	0	0	0	1	0	2
看護師	4	1	0	0	1	0	6
准看護師	4	3	0	0	1	1	9
主任介護支援専門員	0	0	2	0	0	0	2
介護支援専門員	11	3	2	0	3	1	20
社会福祉主事	17	5	2	0	7	2	33
ユニットケア(リターナー)	7	0	1	0	4	0	12
認知症ケア専門士	1	0	0	0	0	0	1
ヘルパー1級	0	0	0	0	0	1	1
ヘルパー2級	26	7	0	1	7	2	43
介護職員初任者研修	9	0	0	0	1	0	10
住環境2級	1	1	0	0	0	0	2
住環境3級	0	1	0	0	2	0	3
防火管理者	4	0	0	0	1	0	5
危険物取扱者	1	0	0	0	0	0	1
第二種衛生管理者	2	0	0	0	0	0	2
認知症介護基礎研修	4	1	0	2	0	0	7

〈R5.3.31現在事業所別職種別職員数(常勤換算)〉

事業所・ 雇用形態  職種	こぐち苑						やしろだ苑						計		合計
	特養		デイサービス		居宅		生活支援ハウス		特養		ショートステイ				
	正職員	嘱託・パート	正職員	嘱託・パート	正職員	嘱託・パート	正職員	嘱託・パート	正職員	嘱託・パート	正職員	嘱託・パート			
生活相談員	3	0	1.5	0.5	0	0	0	0	1	0	0	0	5.5	0.5	6
介護支援専門員	1.5	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	4.5	0	4.5
管理栄養士	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2
介護職員	44.5	17.8	0.5	7	0	0	0	3	13	1	4	1	62	29.8	91.8
看護職員	6	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	10	1	11
機能訓練指導員	1	0.8	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0.8	3.8
その他	6	0.5	0	2.5	0	0	0	0	1	0	0	0	7	3	10
計	63	19.1	5	11	2	0	0	3	20	1	4	1	94	35.1	129.1
合 計	82.1		16		2		3		21		5		129.1		
事業所別構成比	76.7%	23.3%	31.3%	68.8%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	95.2%	4.8%	80.0%	20.0%	72.8%	27.2%	100.0%
構成比	48.8%	14.8%	3.9%	8.5%	1.5%	0.0%	0.0%	2.3%	15.5%	0.8%	3.1%	0.8%			

〈R5.3.31現在事業所別男女別職員数(実人数)〉

事業所・性別 雇用形態	こぐち苑						やしろだ苑						計		合計
	特養		デイサービス		居宅		生活支援ハウス		特養		ショートステイ				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
正職員	30	32	0	5	0	2	0	0	6	13	2	3	38	55	93
嘱託・パート	3	22	7	8	0	0	2	1	0	1	1	1	13	33	46
計	33	54	7	13	0	2	2	1	6	14	3	4	51	88	139
合 計	87		20		2		3		20		7		139		
事業所別構成比	37.9%	62.1%	35.0%	65.0%	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	30.0%	70.0%	42.9%	57.1%	36.7%	63.3%	100.0%
構成比	23.7%	38.8%	5.0%	9.4%	0.0%	1.4%	1.4%	0.7%	4.3%	10.1%	2.2%	2.9%			

◎その他、事業所に属さない事業報告

1 運営会議

4月～3月まで毎月1回（20日前後に開催）

2 火災避難訓練

(1)こぐち苑

9月28日（昼間想定）

3月24日（夜間想定）

(2)やしろだ苑

6月24日（昼間想定）

12月13日（夜間想定）

3 健康診断

(1)こぐち苑

8月17日、8月24日（夜勤従事者対象）

3月13日、3月20日（全職員対象）

(2)やしろだ苑

8月8日（夜勤従事者対象）

3月6日（全職員対象）

4 コロナワクチン予防接種（期間中の嘱託医回診日に実施）

(1)こぐち苑

・4回目 8月25日～9月22日

・5回目 2月2日～3月9日

(2)やしろだ苑

・4回目 9月14日～9月28日

・5回目 1月25日～2月15日

5 インフルエンザワクチン予防接種（期間中の嘱託医回診日に実施）

(1)こぐち苑

10月24日～11月24日

(2)やしろだ苑

11月2日～11月16日

# にいつ福祉会各事業所苦情対応状況

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

No.	受付日	受付事業所	苦情申出者	苦情内容	原因および対応	第三者委員報告の有無
1	R4.10.21	やしろだ苑	ご家族	ご家族より、「コロナ禍で、やしろだ苑は入所者へのマッサージ受入れを中止しているが、他の施設では中止せず行っている。やしろだ苑はいつから出来るのか？今は陽性者も少なくなっているのにまだ中止するのか。」との電話があった。やしろだ苑に陽性者が出ているわけではないが、(その頃、近隣施設で陽性者が出ており)感染防止の為に中止させてもらっているところを説明申し上げたが、納得されない様子で、苦情の申し出先を確認され、電話を終えた。その後、新潟市介護保険課より、当該ご家族から苦情があったとの連絡があった。内容は「施設側より入所者が入院になった旨連絡があったが、事務的な連絡のみで、お見舞いやお詫びの言葉がなかった」と、	やしろだ苑で受けた苦情内容と新潟市介護保険課から聞いた内容に相違があったため、詳細確認のため、10月27日に当該ご家族とやしろだ苑職員とで面談をさせていだいた。その際に、ご家族より「入院時にお見舞いの言葉がなく、またご家族に定期的に送られる近況報告のお手紙が、入院時には送られてこなかった」「発熱から受診まで日数がかかった」との苦情申出を受けた。お見舞いの言葉がなかったことについて改めて謝罪するとともに、今まで入院者のご家族へは、近況報告の手紙は出していなかったことをご説明し、今後は全員にお手紙を出すこととした。発熱から受診までの日数の関係については、受診等は嘱託医の指示で対応している旨ご説明したところ	無

# にいつ福祉会各事業所苦情対応状況

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

No.	受付日	受付事業所	苦情申出者	苦情内容	原因および対応	第三者委員報告の有無
				マッサージの件ではなく全く別の苦情内容であった。	ろ、ご家族より、「発熱時は家族が受診に連れて行っても構わないか」とのお話があったので、可能であることをお伝えした。 また、面談の中で、当該入所者は発熱することがよくあるが、その都度ご家族は検査や確定診断、治療を希望されている意向が見られたので、特養では医師が常勤していないので、看護や医療体制がより整っている「介護医療院」等の施設があることをご紹介した。	

# について福祉会各事業所苦情対応状況

自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日

No.	受付日	受付事業所	苦情申出者	苦情内容	原因および対応	第三者委員報告の有無
2	R4. 12. 11	やしろだ苑	ご家族	<p>R4. 11. 1に入院先の病院より退院された女性入所者の髪がひどく絡まっている状態で、後頭部も薄くなっていた。入院中、拘束され頭を枕に擦るような動作があり、そのような状態になったものと思われる。施設で洗髪しても絡まった髪は解けず、カットしても良いかご家族に確認すると、「本人の意思を尊重して欲しい。」と言われたが、何とかカットせずに絡まりが解けるよう、トリートメント剤を塗布するなど対応を続けていた。</p> <p>R4. 12. 10に家族対応で病院に受診した際、髪 of 毛の塊部分は乾きも悪く衛生的に良くないとの指摘を受け、ご家族より理髪業者と相談してカットして欲しいとの連絡を受ける。退院後すでに1か月を経過しており、絡まった髪の状態のままであったこと、その後の経緯報告、相談、結果等の説明がなかったことに対する不満があった。</p>	<p>やしろだ苑でも、髪 of 絡まりをとりとうとトリートメント剤をつけたりして対応したが、絡まりがひどく改善されなかつた為ご家族に連絡させていたが、その際の説明が不十分であった。</p> <p>カットの前に、出張美容院にトリートメント等カット以外に絡まりをとる方法はないか相談し、それでも、カットしか方法がないのであればそれによいと、ご家族より了承していただいた。</p>	無